

令和元年度(2019年度)第7回三者懇談会(藤白台保育園)

- 1 開催日時 令和元年11月16日(土) 午後1時5分～午後2時40分
- 2 開催場所 藤白台保育園 遊戯室
- 3 出席者 藤白台保育園保護者会会長1名、副会長2名、渉外担当4名、その他保護者16名
社会福祉法人耕心会(耕心会理事長、耕心会事務長、藤白台保育園長、その他藤白台保育園職員6名)
吹田市児童部保育幼稚園室職員(保育幼稚園室長、保育幼稚園室参事、保育幼稚園室主幹2名、保育幼稚園室主任2名、保育幼稚園室係員、吹六保育園保育士)
- 4 議題 1 引継ぎ保育について
2 質疑応答
- 5 議事要旨

1 開会

吹田市： ただいまから第7回三者懇談会を開会いたします。はじめに資料の確認をさせていただきます。

(資料の確認)

2 出席者紹介

吹田市： 三者懇談会の出席者の皆様を御紹介させていただきます。

(出席者紹介)

3 引継ぎ保育について

吹田市： 藤白台保育園は、本年4月に社会福祉法人耕心会に移管されました。保育内容等の引継ぎ状況を確認するため、現在引継ぎ保育を実施しているところです。

本日は、引継ぎ保育の担当保育士が参加しておりますので、引継ぎ保育の状況について御報告を行います。

吹田市： (飯澤保育士は公務により欠席のため、山本元園長が手紙を代読) 6か月、引

継ぎ職員として勤務しておりました。6月以降の引継ぎ保育について報告させていただきます。私は、6月の三者懇談会以降も幼児クラスの引継ぎのため、2歳児から5歳児クラスに一週間ずつ入りました。一泊保育に合わせて5歳児クラスに入るように調整して、実行委員会や当日の助言と援助をしてきました。7・8月の夏季の保育に関しては、水あそび、プールなどの衛生面や安全面について助言をしたり、入水時の工夫を伝えたり、苦手な子供へのサポートなどをしてきました。また、去年は中止になってしまった市民プールでの保育にも同行して、助言や援助をさせてもらいました。夏祭りについては、やぐらや提灯などの準備を行い、引継ぎを行いました。子供たちに関することでは、子供の気持ちを受け止め、寄り添いながら一緒にあそぶことでサポートしてきました。保護者の皆さんとお会いする機会が少なかったと思いますが、なるべく話を聞こうと意識してきました。9月からはクラスを固定せず、運動会の取組みに合わせていろいろなクラスに入るようにして、その中で助言や援助をしてきました。運動会当日は子供たちの素敵な姿や成長を見ることができて嬉しかったです。半年間、至らないところも多かったと思いますが、温かく見守っていただき本当にありがとうございました。今後も子供たちの健やかな成長をお祈りしています。

吹田市：（河村保育士）私は6か月の引継ぎ職員として、藤白台保育園に残らせてもらいました。6月以降の引継ぎ保育の様子を御報告させていただきたいと思います。6月以降、少しずつ子供たちは園での生活や、新しい先生たちとの関係が出来てきて、落ち着いて過ごせるようになってきました。子供たちが耕心会の先生方と関係を築いて、安心して過ごせるように、どのように引き継いだらいいのか、保育の中に入っていかうか、自分に出来ることは何だろうかと悩みながらの毎日だったと思っています。6月以降も入室する前や食事する前後など、生活の切り替えの際に大人の手が必要になる場面が0・1・2歳児クラスにあったので、入らせてもらいました。夏以降はプールや運動会に向けての取組みもありましたので、週案などを見せてもらって、乳児クラスだけではなく、幼児クラスにも日替わりで入らせてもらいました。この4月から始まった新しい藤白台保育園は、他市などで働いてこられた先生や新規採用の先生、耕心会の園で働いていた先生、藤白台保育園に残ってくれたアルバイトの先生などいろいろな先生たちが集まっております。耕心会の先生方は、大変な中でも子供たちが毎日楽しく過ごせるようにと公立の保育を引き継ぎつつ、新しい藤白台保育園の保育を考えて、子供たち

と向き合ってくださいました。保育の引継ぎを行うにあたり、公立の時の前半の保育を実際に見ておられる先生が少ない中でイメージを持ちにくく、伝える難しさを感じることもありました。しかし、耕心会の先生の疑問に思ったことを一つひとつ聞かせていただき、公立で大切にしてきたことをその都度伝えてきました。そういうことが出来たことはよかったと思っています。保護者の方とは、朝夕の登降園の時にお会いして、お子さんのお話をさせてもらいました。皆さん新しい藤白台保育園を温かく見守って下さり、気がついたことなどは伝えてくださりました。これからも保護者の皆さんと職員が一緒になり、新しい藤白台保育園を作りたいと思っています。

吹田市：（山本元園長）今は週3日・4日くらいは来ており、朝から晩までではないですが、週1回は夕方くらいまでおります。園長の相談に乗ったり、地域事業に参加したり、行事があればその会議に出て、気づいたことをお伝えしております。散歩に一緒に行かせてもらって、元気に走り回る子供の姿を見て、成長を感じながら楽しく保育に入っております。

吹田市： では、続いて社会福祉法人耕心会を代表して大塚園長から、移管を受けてからの報告をいただきたいと思います。

耕心会：（大塚園長）前回の三者懇談会から間もなく半年が経とうとしています。夏には5歳児クラスの一泊保育があり、各クラスの職員もみんなで応援しようということで保育を行っていきました。その中で、5歳児クラスの子供たちを中心に職員やクラス間で繋がりができたので、職員も一体感を持って行うことが出来たのではないかと感じております。

夏祭りの時には、保護者の皆様が計画や準備などをリードしていただき、一緒に仲良くなりながら大盛況に終わらせていただいたことを本当に感謝しております。

それ以降のプールや運動会などでは、子供たちと担任と一緒に体を動かすという活動の中で、信頼関係が日々出来てきているじゃないかなと感じてきました。引継ぎ保育の先生方に保育や子供たちのことなどを職員が細かくお尋ねしたり、アドバイスいただいたりして、大変心強くありがたいことでした。残りの引継ぎ保育の期間もよろしくお願いたします。

4 質疑応答

吹田市： 先日、保護者会でアンケートを実施され、結果をまとめられました。アンケートをもとに質問された内容がありましたので、吹田市と耕心会から回答させていただきたいと思います。

(吹田市から回答)

(耕心会から回答)

吹田市： 保護者の方からの御意見や御質問をお伺いしたいと思います。

保護者： (保護者会長) 本日は三者懇談の場を設けていただきましてありがとうございました。アンケートの回答についても時間がなかったにも関わらず丁寧に対応いただきましてありがとうございます。運営委員の方から質問させていただきたいことがございますのでお願いします。

保護者： 保護者会から2点の質問させていただきます。まず1点目については吹田市の今後のフォロー体制についての質問です。吹田市の回答で三者懇談会を中心に対応していただけるとありますが、保護者会としては、引継ぎ保育の先生を引き揚げるのが少し早かったのではないかという意見が保護者アンケートにありました。現場の先生の引継ぎをもう少しフォローいただけないかと思っています。実際に耕心会の先生方も引継ぎするのは初年度ということもありまして、非常に遅くまで残っていて、先生の負担が大きいのではないかと感じています。また、引継ぎ保育の先生にもう少し聞きたいこともあったのではないかと思いますので、できればもう少し現場の先生のフォローを吹田市にお願いできないかと思っています。

2点目は、回答いただいている連絡帳についてです。3歳児から5歳児の連絡帳に毎日返事を書くことが難しく、体調、ケガ、睡眠、食欲、その他お伝えしたいことがある場合には記入させていただくようにしたいと思っていますと回答いただいています。現在、3歳児から5歳児の連絡帳は見ましたという時もありますが、しっかり記入いただいていると認識しております。今回の回答は、今よりも減らしますという意味なのか、今のままですということなのか、どちらなのかを教えていただきたいです。

吹田市： 合同保育が移管前に1年あり、通常職員3名のところを耕心会から4名来ていただいております。その間、公立の職員が1年間さまざまなことをお伝えして引継ぎを行ってきました。

移管後についてはおっしゃっているように看護師や用務員が1か月、幼児担当の保育士が3か月、乳児担当の保育士が6か月、園長等が1年間の引継ぎ保育を行って、関わっていくという計画にしております。移管をするにあたって、移管前を手厚くするのか、移管後を手厚くするのかという議論をした中で、吹田市としては移管前を手厚くするということにして耕心会には1年間来ていただいて公立の保育を一緒に見ていただきました。

耕心会で4月から新しく採用されて来られた方もおられるので、1年間合同保育に来ていただいた方から伝えていただいております。また、本市の引継ぎ保育の職員からもお伝えしております。昨年の公立の藤白台保育園の職員は他の園に異動しているため、引継ぎ保育の期間を延ばすということは難しいですが、伝えきれていない部分があって、話が聞きたいということがあれば、所属園で体制を取ってもらい、対応させていただきます。現在は園長等が1年間残っておりますので、まずは窓口となって、適宜対応させていただければと思います。

耕心会： 連絡帳の回答については、引継ぎ保育の園長等にも確認させていただき、公立でも担任によって書ける時に書くということを伺っており、共通認識としての最低限のルールを記載しております。今よりも減らしますという意味ではありません。今年度は移管後初めて保護者の方と関係を築いていくことになるので、できるだけコミュニケーションとりたいということで、なるべく返事を書くようにしております。保護者の中には先生に自分の子供の様子を知ってほしいということで、休日の様子などを丁寧に書いていただいている方もいらっしゃるのですが、担任もその連絡帳を読むと返事を書きたいという気持ちになります。しかし、連絡帳はお昼に書いており、行事や会議などがあつたりすると、時間が取れなくて返事を書くことができず、見ましたということで終わってしまうこともあります。その代わりに3歳児から5歳児クラスではクラスだよりを配付して、活動をお知らせするようにしております。3歳児から5歳児は自分でお話をすることもできるので、保護者の方にクラスだよりを見てもらって、お家で保護者の方と会話を楽しむきっかけになればという思いもあります。

保護者： 園長先生にお聞きしたいのですが、公立からどのような部分を引継ぐべきだと思われましたか。

耕心会： （大塚園長）合同保育で移管前の1年間に公立の保育の引継ぎを行ってまいりました。公立の先生方から何よりも子供たちの引継ぎをお願いしますということで言われていましたので、子供たちのことをしっかり見ております。そのうえで、子供たちとどのように関わっていくかということは、今まで0歳からずっと積み上げてきた公立の保育がありますので、同じように保育内容や行事の取組みなどをしっかりと引き継ぎたいと思っています。必ず大事にしているねらいがあると思うので、それをしっかり引き継いで、考えるようにしております。

保護者： そのねらいとはなんでしょうか。

耕心会： （大塚園長）ねらいというのは子供たちがどのように育ててほしいかということだと思います。子供たちが何かをできるということではなくて、意欲や心情などを大事にすることとっております。

保護者： 運動会の時に笛を吹いていた先生がいらっしゃいました。笛を吹くことに対して、あまりいいように思わなかった保護者が何人かいて、そのことについて話し合いました。その結果、今まで藤白台保育園では、子供を下から押し上げて、やってみたいという気持ちを奮い立たせて、応援してくれていました。一方で、笛を吹くというのは、上から押さえつけて言うことを聞かせているように思えます。それを見た時に何人かの保護者は違和感があったのかなということでした。保育士一人ひとりのやり方を尊重していると思いますが、今まで公立保育所で育ててきた自主性を重んじたり、子供たちの意欲を高めたりすることなどが引き継げていないのかなと残念に思いました。できればそこは頑張っていたいただきたいなと思います。

耕心会： 笛に関しては、他園でも使っているところがあり、私が働いていたところも使っていました。笛で子供を押さえつけているということはありません。笛は一つの合図だと思っていて、次の準備のために使っております。子供たちと話をして、

笛を使うところを決めております。

保護者： 他園で使っているのは全然関係なくて、今までの公立保育所のやり方と違います。笛を合図にして、動きのきっかけとすることに優れていることはわかりますが、今までの公立保育所のやり方だったら、子供たちが自分で考えて自発的に動いていました。もし、動きに遅れた子供がいたら一緒に行こうよとフォローしてくれていました。しかし、先生が笛を吹いてしまったら、自分で自発的に動くことを考えられなくなってしまおうと思います。

耕心会： 子供たちは自分で考えていると思います。次の行動を考えるために笛を利用して子供たちのやる気のスイッチを入れているかなと思っております。

保護者： 例えば、小学生の子供に宿題などをやるように促すために笛を吹くのではなく、自分で考えてやるようにしたいです。笛がないとやれなくなる、できなくなるというのが問題です。自分で考えて行動を起こすというようなことを目指していただきたいです。

耕心会： 運動会の際は笛を確かに使っておりますが、普段の保育では使っておりません。そこは使い分けております。普段の保育では子供たちの自主性に任せていますし、自分たちから手伝ってくれる姿もあります。子供たちが考えて動けるように日々やりとりしております。合同保育で公立の保育を引き継ぎ、「子供たちが最終年齢に自分たちの考えで動けるように」ということで、そこに向けて積み重ねております。

耕心会： 合同保育の中で「自分たちで考えて生活できるように」ということを公立の先生方が大事されていたので、引き継いでできました。耕心会では、子どもたちが考えるための材料・下地として、大人がある程度の基本的なやり方を伝え、それを元に子供たちが自由に考えられるようにということを大事にしております。

耕心会： アンケートで笛に関する御意見を讀ませていただきました。これまでに公立保育所の保育を引き継ぎしてきましたが、保育士一人ひとりに保育観があります。そのため、目指す「目標」は同じでも、具体的に子供たちとどのように接するかと

いう保育の方法は、一人ずつ違っている部分があるのかなと、たくさんの保育士と接してきて思うところがございます。私たちは、いろいろな経験を持った職員が集まってきており、彼ら彼女らの経験・持ち味も活かしながら保育を行っております。

今回の機会を良いきっかけにして、笛だけに限らず、基本的な子供たちの活動をどのように支えていくのか、関わっていくのかなどを見直していきたいと思えます。笛の使い方については、どういう意図や意味があるのか、どのような運営の仕方をしていったらいいのか、そこを出発点にして、職員間できちんと話し合いをさせていただきたいと思っております。また、引き続き保護者の皆さんでお気づきのことがございましたら、教えていただけたらと思えます。

吹田市： 合同保育の時に耕心会の先生から笛の質問がありました。私たちは不審者対応や遠足などで子供に危険が及ぶと思う時には笛を使うことにしております。耕心会でも普段の保育では使っておられません。笛の使用については確かに私たちも違和感があってお話をしましたが、耕心会の先生方の考えがありますので、合図ということで捉えておりました。

運動会の感想では笛のことについての記載がなかったので、保護者の皆様は違和感などがなかったのかなと思っていました。今回のアンケートの中で、笛についての御意見があることを読ませていただいて、再度耕心会に話し合いをしていただきたいとお伝えしておりますので、耕心会の先生方でこれから検討されると思えます。笛を使う、使わないということをしっかりとお話し合いをしていただき、全員の意見として一致していただければと思っております。

耕心会： 私たちが保育で大事にしていることはねらいであるため、いろいろな方法がある中で笛を使わなくてもできることもあるのではないかとおもいます。こういったことは他の保育でもよくあります。経験を積み重ねると考えが固執してしまい、この方法でやると決めてしまいがちです。しかし、本当にその方法でいいのかというのがあります。様々な方法があると思っておりますので、固執することなく、柔軟な考えを持った職員を育成していきたいと思えます。

この件だけに関わらず、職員で話し合いをしていきたいと思えます。また、話し合った経過をお伝えしていきますので、よろしくをお願いします。

保護者： 耕心会の先生には、前年度の合同保育の時から入っていただいておりますが、主体となってクラスを持つということはなかったと思います。1年間確認するだけでは、今年度いきなり保育を中心に動かしていくというのは難しいのではないかなと感じています。

現在、西山田保育園で合同保育をされていると思いますが、可能であれば耕心会の先生がクラスを持つ日があってもいいのではないかなと思っています。公立の保育の考えは、伝統があり歴史が長いと思います。耕心会の先生がクラスを持つ日を設けて、公立の先生が逆の立場から保育を見て、公立との違いを見抜く機会があってもいいのではないかなと思います。せっかく西山田保育園は耕心会が引き継ぎしているので、公立の先生の意見を耕心会の中で共有していただけたら、まだ気づかない違和感みたいことがあると思います。是非、そういった機会を設けていただければと思います。

あと、私立になって一番心配しているのは先生の離職です。管理職の先生方にはしっかりフォローしていただきたいなと思います。

耕心会： 現在、西山田保育園で移管前の合同保育を進めているところです。先日、ごっこの研修に参加させていただき、公立保育所の元園長に、保育の考え方や、子供への言葉のかけ方、絵本の題材の選び方などのお話を伺いました。ごっこの研修では私たちが知らないことや、疑問に思うことがたくさんありました。そういったことを理解して、同じ土俵で公立保育所の先生方と話ができるのかなと肌で感じました。おっしゃっていただいた御意見を大事にして、西山田保育園の移管を進めていけたらと思います。

藤白台保育園で働くにあたり、民間移管という難しい責任や覚悟、自分の中に問題意識を持ってやっていくということなどが必要な部分だと思います。藤白台保育園の職員は環境や条件などが違うところから集まっておりますので、職員同士のコミュニケーションを図る機会を設け、「藤白台保育園で働いてよかったな」と思えるように管理する職員がしっかりサポートしていきたいと思います。また、個人ヒアリングなどをして、職員が自己評価したことに対し、きちんと評価してあげることが欠かせないと思います。職員が問題意識などを持って、「成長できてよかった」と思えるような機会を設けていきます。保護者の皆さんに御心配のないように努めてまいりたいと思います。

保護者： 去年は地震や台風などの自然災害で思いもしないトラブルがありました。先生方は毎日やることも多く、その中で不審者対応などにも追われ、いろいろ煮詰まってくると思います。今年度は民営化してから1年目ということで、先生方は毎日緊張していると思います。緊張すると、どうしても視野が狭くなり、結論を見つけたくなります。そうすると、子供への対応も最初から結論を伝えてしまいがちになります。若い先生方の子供への対応を見ていると、最初の一言が「片付けようね」、「着替えようね」と結論から言っていることがありました。一方でベテランの先生は結論を示すのではなくて、「次に何をするかな」などと言ってきて、子供に選択肢を与えてくれます。視野を広くすることにより、結論から伝えずに子供たちが自発的に動くように、先生方がそういうことに気づいていただければと思います。先生方は専門的な教育・保育を学ばれて、保育士の資格を取得されています。気持ち次第で視野は広くなると思いますので、先生方に気づいていただければと思います。

保育は一人で行っているのではなく、チームで行うものだと思います。余裕を持っていただき視野が広くなれば、横の先生方同士の連携でフォローができたり、不備も確認し合ったり、考えを話し合ったりして、保育園全体で良くなると思います。先ほどおっしゃっていただいたように保育のねらいなどは、しっかり持って大事にされていますので、視野の広ささえ確保できれば、どんどん良い方法があると気づくきっかけにもなり、見直しもできると思うので、そこは気持ち一つかなと思います。横の連携も高めて保育園を良くしていただければと思います。

保護者： まず三者懇談会で議論するにあたって確認したいことは、皆さん同じ方向に向かって、藤白台保育園をより良くするために話をしているということが大切なことかなと思います。基本的には同じ方向に向かって思うので、耕心会で何を目指していくのかということを保護者にもう少しお伝えいただければと思います。これからの藤白台保育園の基本的なスタンスや計画などを作ってください、先生方に行ってもらうことが大切だと思います。そして、それを保護者が見ると、こういう方向性でやっていただいているとわかると思います。もし、そのやり方が違えば保護者が思えば言いやすくなり、より良い方法が生まれると思います。耕心会だけでなく、保護者も一緒にこれから作っていただければと思います。どのような方法でやるのかは、これから議論していかないといけないということだと思いますが、これから良い環境を作っていただきたいです。

先生の教育につきましては、人を育てることは時間がかかりますし、すぐに成果が出るものではないと思いますが、絶対に行っていく必要があると思います。まずは社会人の教育があり、もう一つは専門性を高める教育があると思います。専門性を高める教育としては、いろいろな内部の取組みなど、御検討いただいているので、それを行っていただければと思います。実施していただくにあたり、できれば保育所を続けていくための教育コンテンツとして後に役立てるよううまく行っていただければ、今後の先生にも繋がっていくと思います。しかし、先生方はすごく忙しく負担になるかもしれないので、そこは保護者も協力して、例えば連絡帳の件も最終的にどうなるかわかりませんが、先生だけでなく、保護者でやれることはやるという形でできると思うので、是非いい形でなるように持っていったらと思います。

先ほどおっしゃっていた離職の話がありますが、厚生労働省のキャリアパスの形成が欠かせないと思います。要は保育所の先生のキャリアがきちんと形成されて、できるようにしていかないといけないかなと思っています。吹田市のフォロー体制につきましては、引継ぎの話だけではなくて、キャリアパスの形成などの支援の検討をしていただければと思います。

最後に私たちは、藤白台保育園での民営化のプロセスを経験しています。また、他の園でも同じように進んでいる中で、吹田市には、民営化の中でこういったことが良くて、どのような問題が起きているのかなど、そういった内容を記録していただいて、次に生かしてもらいたいです。記録に残してもらうことで、私たちが意見をお伝えした意味があるのかなと思います。

吹田市： これまでに保護者説明会や三者懇談会などを開催させていただいて、保護者の方の御意見をお聞きしております。そういったことから民営化事業者の募集内容などが決まったりしました。また、合同保育、引継ぎ保育のねらいなど、事業者に移管するためのさまざまなことを対応させていただいております。

これまで移管事業者には、公立のやり方をそのままコピーするのではなくて、私立の良さを是非生かしてくださいとお伝えさせていただいております。公立保育所の職員は、吹田市立の保育施設内を異動しております。一方で耕心会の職員は、他市に留まらず他都道府県の保育所や幼稚園などから来られているということもあるので、いろいろなノウハウも持っておられます。そういったノウハウを活かして、藤白台保育園でより良い保育に繋げていただければと思っています。

しかし、保護者の方や子供たちが不安のないように、今まで行ってきた藤白台保育園での経験や目的、ねらいなどを学んでいただいて、それを踏まえたうえで、保育をしていただきたいとお伝えしております。子供たちを中心に置いて保育を行うことは変わらないと思うので、何なりと相談していただき進めてもらいたいと思います。

来年度、吹田市は中核市に移行します。キャリアパスのための研修などを開催して、藤白台保育園を含めた民営化園だけに限らず、私立の保育所・こども園・幼稚園などにも参加していただいて、吹田市全体としての底上げをできるようにしていきたいと思います。

保護者： 笛のことだけに限らず、今後の保育で引継ぎしている元園長や他の先生が公立の時の保育との違和感がある場合には、耕心会に伝えられるようにしていただきたいです。そして、その違和感を耕心会内でしっかり議論して、どのような保育を行っていくのかを決めていただき、それを保護者に報告いただければと思います。

吹田市： 今までも公立の保育と違うことがあればお伝えしてきました。これからも、気になることや違和感がある場合には耕心会にお伝えしていきます。お伝えしたことをどうされるかは耕心会でお話し合いをされて、決めていかれると思いますが、伝えていくことは引継ぎ保育の役割だと思っております。

耕心会： 私は昨年度の4月から合同保育職員として、藤白台保育園で保育をしておりました。公立の先生方から引継ぎの思いやねらいなどをすごく丁寧に教えていただきました。そして、伺ったことをリストにしてまとめ、耕心会で月に1回程度話し合う時があったので、藤白台保育園で働く職員に伝えておりました。

今年度、保護者のアンケートを見させてもらい、今後をもっと議論をしていかないといけないと反省しました。まだ、引継ぎ職員として元園長先生がいらっしゃいますので、いろいろな思いをお聞かせいただき、また、保護者の方の意見なども聞かせていただければと思いますので、今後ともよろしく願います。

吹田市： 岸部保育園に関して情報提供させていただきます。来年度民営化予定であった岸部保育園は民営化移管先事業者との協定を解除しております。公立保育園民営

化実施計画に基づき、3か年で5園民営化するとして、来年度、令和2年4月に岸部保育園と西山田保育園を民営化する予定で進んでおりました。しかし、8月1日に岸部保育園につきましては、子どもが考えている対応を事業者がちゃんとしていただけなかったために、事業者との協定を解除しましたので、来年度の民営化はなくなりました。しかしながら、民営化の計画自体がなくなったわけではないので、また改めて民営化の事業者選定を進めていくということになり、民営化する時期は延期となりました。

岸部保育園の保護者の皆さんには8月3日、23日、28日と3回説明会をさせていただき、いろいろな御意見をいただきました。合同保育が進んでいる中でこういったことが起こってしまったことについては、子どもとしても予想外のことでしたが、園児、保護者の方々に大変負担をおかけしたと思っています。これから丁寧に話を進めていかないといけないと思っています。保護者の方は4月に向けて、民営化されるから、私立になるからと、様々なことを思いながら進んできておられたところですが、こういったことになってしまったことについては、大変申し訳なく思っています。先ほど申し上げましたが、これから再度事業者選定などが進むこととなりますが、岸部保育園の園児、保護者の方々にはさらに丁寧に対応していきたいと思っています。説明会の詳細はホームページに掲載された3回の説明会の議事概要を載せておりますので、ご覧いただければと思います。他園のことなのでこれ以上細かくお話しはできませんが、御理解賜りますよう、よろしくお願いいたします。

吹田市： 耕心会では大学などで教えられている役員の方がおられ、これまでに自分たちが育ててこられた学生が保育所や幼稚園で就職しておられます。働く中でいろいろと思う教え子があり、そういった経過から自分たちで保育所を作ろうということで南吹田に保育所を作られました。耕心会では、自分たちで研究会を作り勉強会などを開催して、事例検討や実践報告などを行い、意欲的に勉強をされております。私は耕心会でそういった勉強会などを行い、職員がたくさん参加していることにすごいなと思っておりますので、保護者の皆さんにもお伝えしておきます。

熱心な事業者に藤白台保育園を引き受けていただいたことにすごく感謝しております。これからも、引継ぎ保育などでフォローをしっかりしていきたいと思っております。日々の保育の中で先生と子供との関係を築いているので、様子を見ながら、気になることは気付いた時にお伝えしていきたいと思っております。

いろいろなところから先生方が集まってきたので、先生同士の関係を作られながら、保育をされていますが、余裕がない中でも、先生方はとても仲良くされておられますので、そこは安心していただければと思います。しかし、自分のクラスに一生懸命ですので、隣のクラスを見ていくことについてはこれからだと思います。

移管後1年目でも子供にとっては大事な1年間ですので、ベテランの先生が若い先生をサポートしていかれると思います。また、私たちもフォローをしていきます。私が新人の時に先輩職員から「子供たちの年齢に近いので、一番子供の気持ちわかる先生ですよ」と言ってくれました。私はその言葉がすごく嬉しくて、その思いを胸にずっと大事にして、若い職員にも同じように伝えております。ベテラン職員にも若い職員にもそれぞれに良さがあると思います。公立保育所の職員も同じように育ってきたので、耕心会も今の保護者の方に御意見をいただいて、一緒により良い藤白台保育園を作っていただきたいというのが私たちの願いです。

5 閉会

吹田市： 本日はこれで三者懇談会を終了いたします。次回の三者懇談会につきましては、耕心会や保護者代表である保護者会長様と調整させていただきます。本日は、御参加いただき、ありがとうございました。